

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

240号

★ 2021年9月25日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 羽田問題の訴訟 第三回口頭弁論

9月22日(水) 15:00から103法廷で開かれました。46の傍聴席は丁度いっぱいになりました。今回は弁護士ひとりが要旨を読み上げただけで、反論があれば12月24日までに双方とも書類を提出すること、2月22日(火)には419法廷で進行協議をすること、が決まりました。

2月の進行協議は殆ど非公開だそうです。

○ 羽田見直し都議会議員連盟と 住民団体との意見交換会

8月25日(水)の羽田見直し国會議員連盟と市民団体との意見交換会に続いて、選挙後の都議会議員連盟との意見交換会が9月9日(木)にZOOMで行われました。

都議会議員の28%にあたる36名が参加、立憲民主党は全員が参加してくれました。

市民団体は都民の重大な問題として、来る衆議院選挙には一人区での応援をするようです。

○ 国交省に毎週抗議

渋谷区のSさんの提案で毎週火曜日の4時から、国交省前で抗議の集会をしているそうです。

裁判も何年もかかりそうですし、品川区のお年寄りが、もう限界だとつぶやいているのを聞き胸が痛みました。去年からコロナ禍のさなかでも一年半も続いている騒音被害に耐えきれず引っ越しを余儀なくされた家族もいることでしょう。人の痛みを感じとれない人達が物事を決定していることは、怒りを乗り越えて情けなくなります。

○ 衆議院選挙の日 バザーは冬物整理

去年無かった分、今年は2度目のバザーを行うことになりました。

日にちは未定ですが、衆議院選挙の日、いつもお借りしている常盤台小学校前のガレージで、10時~15時まで、品物受付は前日13時~16時となります。

前回7月4日の残りとストックしておいた冬物の衣料品が中心ですが、新しくコロナの巣ごもり中に整理したものなどをお預かりしています。

100円ショップなどで売っている物とはひと味違うものをお願いしたいと思います。

○ 自民党総裁選 コップの中のあらし

オリンピック・パラリンピックの反省も無しに世は自民党の総裁選一色になっています。

自民党の若返りに期待していたのですが、岸田さんも河野さんも派閥の領袖の了解を取り付けるために重大な問題をうやむやにしまい、所詮自民党なのかがっかりさせられました。

「もり・かけ・さくら」問題を国民は忘れてはいません。腐敗が進んでいることを死を賭して抗議した人の残した証拠を全面公開しないのはなぜでしょう。1億5千万円の税金がどうやって選挙運動に使われたか、買収目的であった可能性は高く、元法務大臣が関わったなどは腐敗の窮みです。国民が望んでいるのは自浄能力のある政府・政党・政治なのです。その意味で今のままの自民党は責任を果たしているとは言えないのではないでしょうか。もし政権を引き続き担当するなら、負の遺産をまず片付けましょう。



ささやかなSDGs

レジ袋の代わりに

レジ袋の代わりに安い物籠やマイバッグを使うようになりました。それまでゴミをまとめるのにレジ袋を重宝していたので、代わりにするものに初めは戸惑いました。今は包装に使われているビニールの袋やダイレクトメールの包装など、以前は捨てていたものを使うようにしています。わざわざゴミ袋を買わなくても充分に合います。

家庭でもできる簡単なSDGsではないでしょうか？

街路樹の爪とき

常盤台を一周するプロムナードの並木は、プラタナスとトチの木(マロニエ)がほぼ半分ですが、これからの植樹はプラタナスに統一する事になっています。

中の幾本か、特に公園と小学校の間のトチの木の数本に、地上部に帯のように50cmぐらいの色の変わった部分があるのに気が付いていましたでしょうか。

なんと、野良ネコたちが爪をといた跡だそうですね。公園のTさんが教えてくれました。

プラタナスの幹はつるつるして爪を研ぐには向いていないので、トチの木のざらざら感が気に入っているのでしょうか。

それほどこの近所に野良ネコがいるということですね。YさんたちのTNR活動に期待しなければならぬと思います。

戦時中のこと

この街が作られたのは、昭和一〇年の前後です。中国大陸で日本軍の野望が着々と進められていた時期でした。日米開戦が昭和一六年でした。二〇年の終戦まで、常盤台はどんな様子だったでしょう。

母達の話では国防婦人会なるものをご近所を支配していたようで、電気を消し忘れていたところ、Kさんから「非国民！」とののしられたりしたようです。

住民には軍部の関係者も多く、医者や軍人の街と言われていた、と当時の学生会の理事長だったMさんからお聞きしました。Mさんは学徒出陣したのです。

戦争の体験者が数少なくなっているのですが、貴重なお話しを残したいと思っています。特に国防婦人会の活動を知りたいので、もし資料などありましたらよろしくお願いします。

常盤台の写真展

景観を守る会は常盤台に住まわれている人々に、この街の歴史や特殊性について理解を深めて頂くという意図で、何回か常盤台についての写真展や展示を行ってきました。

二〇一七年に南宇都宮駅とときわ台駅についての展示及び宇都宮美術館学芸員の橋本さんの講演をギャラリー服部が開いて以来、間が空いていましたが、新しい住民も増えて来ましたので、来年に向けて街の写真展を準備しようと思います。

常盤台公園のはなづくり

残暑の中、少しずつですが雑草を引き抜いています。

現代人は雑草を「取る」と言いますが、昔の人は草を「引く」と言ったようです。雑草をむしるように取ると、疲れはしませんが直ぐまた出てきてしまいます。根が残っているからです。「引く」のは根ごと取る動作です。根ごと取ってしまうえば当分の間は生えてきません。「抜く」より雅な感じがするようです。したたかな根と格闘するのは結構重労働です。

公園にはポランテア団体に対して年二回、花苗が配られますが、駅前ロータリーの花壇は、区の委託業者の手で年四回花を植え替えているようです。五叉路の所にも同じくらい手が入るようです。

先日、五叉路ではヤブカラシなどの雑草を業者が掃除していました。公園もやってくれるのかな、と期待していましたが、どうも我々まかせのようです。

区のはなづくり団体との決まりには、私達には不可能なことも入っているのです。私たちは正式には登録していません。あくまでポランテアで活動しています。排水路の清掃や遊具の修理なんてとてもできませんから。

